

中大合同演奏16日に
 中央大学三バンドの合同演奏会は十六日午後二時、六時の二回、秋田山王体育館で開かれるが、歴の部に千秋学園、感恩養育院などの協賛に収容されている恵まれぬ子ども百五十名が無料招待される。
 また同演奏会は十五日も昼夜二回由利郡仁保保町平沢小学校で開かれる。午前十時から小学生対象の音楽教室で、午後七時からは一校対象の慈善公演。

昭和33年8月15日

町の人気呼ぶ 中大の学生バンド演奏会

このころ、県都には毎日のように夏休利用した学生バンドが来演しているが、関東吹奏楽コンクールで四年連続優勝している中央大学三バンドとスイング・クリスタル、オーケストラ、モダン・クリスタル・クインテット(フラス・アルファ)の三学生バンド演奏会が、二十一日午後二時七時の二回、秋田市体育館で開かれた。開演前に、三バンドは市内行進をして、黒い学生服に角帽、白ゲートルという大学生らしい団員の一糸乱れぬ演奏と歩調がまちの人気を呼んだ。

会場ではホビエレーなクレン・ミラー・スタイルの演奏から始まって、クインテットなどは「ウォーキン」「朝日のごとくさわやかに」のようなみずかしいモダン・ジャズを多くこなし、ジャズ・ファンの手拍子を受けていた。

三回では、三バンドが勢ぞろいして「忠誠」「新世界」をはじめ、行進曲、序曲、ドラマ組曲など変化あるレパートリーを堪能たつぷり聞かせてくれた。

中大モダン・クリスタルクインテットのモダン・ジャズ演奏。
 秋田市体育館で



昭和36年7月23日

合宿中の琴丘に「感謝」
 特養施設でボランティア

琴丘町で合宿中の中央大学硬式野球部(野々下純生監督、三十八人)がこのほど、同町鹿渡の特別養護老人ホーム・希望苑(渡辺正範施設長)を訪れ、窓ふきや草取りなどのボランティアに汗を流した。

中央大準硬式野球部

同部の同町での合宿は、五年連続していたが、五年前から、全国大会の開催は、合宿生活を行っていた催地近くで合宿している町老人福祉センターの隣、部員たちがそうきんの原点(野々下監督)を手に入ると、入所者たちは初めは少し戸惑っていたものの、てき手や手踊りをして喜んでおんに感謝したい」と話した。

大石卓哉主将(三)は「練習に限らず、こっしに滞在。二十日から北海道で行われる全日本硬式野球選手権大会(インカレ)に関東地区代表と者たちの熱唱ぶりに、拍ださった琴丘のみなさとして出場する。

作業が終わると、部員たちはホールに集まって地域のみなさんと触れ合えたことは貴重な体験。温かく受け入れてくれたことに感謝の言葉を述べた。

入所者に歌を披露する部員たち＝琴丘町鹿渡の希望苑



平成14年8月16日

学員時報に見る秋田県支部

雪の秋田で支部総会

小野事務局長訪問 記録的な出席者

秋田支部は昭和四十四年支部総会を二月七日、朝凩「あきたくらぶ」において開催した。母校からは事務局長小野三郎先生を迎え、会員は従来の総会からすると記録的な七〇名出席という盛況ぶりだった。

七十年前八時半秋田駅に着いた小野事務局長は、久米田(羽後銀行頭取)支部長、大平東地労働事務局長をはじめ多数の出席者を待たせ、中央ホテルで少饗後会場に向かった。



本村新支部長

新任長新林勝氏司会が始まった総会は「昨年の総会に当時の高田君がゲスト状祝から授賞再開に至る経緯、卒業、入学試験の厳格化、青英賞金、就職状況等を詳細に報告、来会者一同はこの説明に安心した」と喜んだ。

このあと、理事に入り、事業報告と役員改選を行った。役員改選の結果、本村新支部長に選出された。

昭和45年3月10日

秋田支部総会

二月十二日午後一時から秋田市の「秋田クラブ」において大学側から小野学員会事務局長、支部側から久米田七之助支部長他五十二名の会員が出席して秋田支部総会が開催された。

総会は、まず大平幹事長の司会で開会、久米田支部長の挨拶について小野事務局長から大学の現況、学生活動の状況、今後の大学の施設計画、学員会の状況の説明があつてから懇親会に移り、最長老井藤士郎田広吉氏(大正七年卒)より卒業後大学に現り大審院判決録の編纂に従事した苦闘が、あつて最後に校歌を合唱、午後三時盛會裡に散会した。

昭和42年3月10日

結束の固さ示す

酒よし、ムードよし

秋田支部

会の現況などを詳細に報告、大学の近況報告には、支部会員一同真剣な面もちで聞き入り、大学に対する関心の深さを示していた。

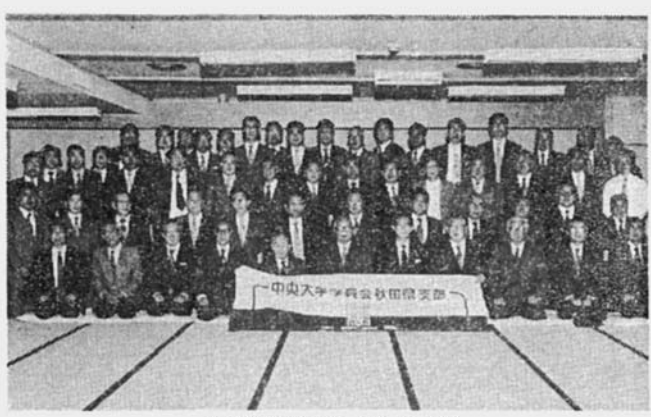
総会の議事を終えて、久米田前支部長の首領で乾杯、懇親会にうつった。天下の酒の、秋田美人ハッピー酒も豊富、きれいさるのお酌「おどろ……」条件も良ければムードも良い。支部長を中心に和気あいあい。飲飯尽きることこそ知らず、なごやかに懇親の果をあげた。地方支部でも結果の固い、充実している支部の感を示していた。

学員会秋田支部が三月二十七日(土)午後、「あきたクラブ」大広間で盛大に支部総会を開いた。本村一郎支部長をはじめ約七〇名の支部会員が参加。学員会本部からは亀井幸次事務局長が出席した。

総会は、新林幹事長の司会で午後三時開会。本村支部長からあいさつがあつたあと、幹事長から事業・会計等ひととおり支部活動報告があり議事がすまひ。

亀井学員会事務局長は、約四〇分にとわつて、大学の近況、学員

昭和46年4月10日



秋田支部記念写真 (50・5・31)

秋田支部

秋田支部(大平重成支部長)は六月四日、秋田第一ホテルで本年度の支部総会を開催した。出席学員は約七十名、大学からは佐野常任理事、新井学員会事務局総務課長が出席した。

昭和52年6月10日

全県各地から約60名の出席

秋田支部 昭和五十年秋田支部(大平重成支部長)総会は去る五月二十一日午後二時から、レストラン「ジャンゼリ」にて行なわれた。全県各地より約六十名が出席、前年度の経過報告、会計報告がなされた。

総会後、たち同会場で、久米田顧問の賞顔で盛大な懇親会がなされ、飲むほどに、酔うほどに寝たけなわつた。

谷村学員会会長、崎田常任理事、坂本藤行の三名が会場に到着。谷村先生、崎田先生から大学当局の近況報告がなされ、盛況に裏は盛り上がり、盛況のうちに終了した。(加賀谷・記)

昭和50年7月10日

別れがたきは同窓の友

秋田支部

昭和五十四年度秋田支部定期総会
 会は、六月十六日アキタニューケ
 ランドホテルにおいて、七十余名
 の会員の参加のもとに開催され
 た。

総会は午後四時に始まり、阿部
 支部長の挨拶、幹事長の会務報告
 に続き、来賓として出席したた
 た佐野常任理事より大学の現状に
 ついて詳しい説明があった。会員
 一同佐野先生の話を聞きながら、
 母校のますますの隆盛を心から喜
 んだ次第である。

総会終了後、午後五時から懇親
 会が行われ、阿部支部長、佐野常
 任理事の挨拶に続き、長老である
 久米田会員の乾杯の音頭で宴が始
 まった。

年に一度の集まりのことで
 会員同志もまた話に花が咲き、
 予定の時間をオーバーし、午後七
 時半頃まで宴が続けられた。途
 中、創通部OB有志による余興も
 多く、和気あいあいのもとに会が
 進行した。懇親会の最後に全員が
 起立をし校歌を斉唱し、またの再
 会を約して散会した。

しかし、なかなか別れ難い会員
 約三十名は、懇親会にサービスに
 きていたホステスに誘われるまま
 アラブ白馬二に赴き、そこで二
 次会を行い、午後九時過ぎまで乗
 しい時を過ごした。

お忙しい中遠路はるばる秋田へ
 おいでいただいた佐野先生、およ
 び学員会事務局の新井課長には、
 夜おそくまでおつきあいをいた
 だき、心から感謝申し上げる次第で
 ある。

(豊口祐一記)

〈連絡先〉幹事長・豊口祐一
 (電)〇一八八三二二三二
 九

昭和54年8月10日

新支部長に阿部正一氏

秋田支部



写真(中央)阿部新支部長(その左)佐野常任理事

昭和五十三年度秋田支部総会
 は、去る六月十日、アキタニュー
 グランドホテルで行われた。

先生と学員会事務局次長の阿部輝
 男氏のお入りがおいで下さり、午
 後四時から総会、その後ひきつづ
 き懇親会という順序であった。

今年には役員改選の年で、新支部
 長には阿部正一先生(弁護士)新
 幹事長には豊口祐一先生(弁護
 士)がそれぞれ満票一致で選出さ
 れました。参加者は約七十名位
 で、飲むほどに酔うほどに歌など
 も出て午後八時頃に二次会は終
 了、その後二次会の会場である川
 反へと移転し、おおいに気炎をあ
 げた次第である。(加賀谷敏記)

昭和53年9月10日

古くて新しく 開かれた支部

秋田支部

本支部は、学員相互の親睦・母
 校との連携強化を目的に結成さ
 れ、次の特色をもつ。

▼三十年の伝統を誇り、会員
 数は約五〇〇名。▼昼、夜間、通
 教を問わず総てが会員である。▼
 自由業も含め、各職域毎に白門会
 が結成されている。

現在、これらの特色を踏まえな
 がら県内各地域に理事を置き、卒
 業生の発掘に努めるとともに、総
 会や各種会合を通して会員相互の
 交流と連帯の輪を広げている。

(佐藤邦昌記)

昭和58年3月10日

秋田支部で総会

六月十六日(土)午後四時
 三十分より、中央大学学員会
 副会長野村権之亮先生を迎
 え、会員九十三名の出席のも
 とに開催されました。会務報
 告のあと役員改選が行われ、
 柴田久雄支部長以下新役員が
 決定されました。

懇親会は野田衆議院議員
 の乾杯の音頭で開催され、今
 年度より招待しました中央大
 学父母連絡会秋田支部会長
 石川氏他二名とともに盛大に
 行われました。

(幹事長・藤林弘一記)

平成2年7月25日

母校を核に広がる交誼の輪

秋田支部

秋田支部(阿部正一支部長)井
 澤七の五十六年度定期総会は、五
 月三〇日(土)午後四時半から約
 七〇名の出席を得て、秋田ニュー
 グランドホテルで開催された。

開会宣言の後、阿部支部
 長が挨拶に立ち、母校の現状状況
 や白門生会事業に対応する当支
 部の考えについて色々と述べた。
 井澤七から、五十五年の事業報
 告と決算報告がなされたが満場一
 致でこれを承認、さらに来賓の豊
 井理事長(学員会事務局)が
 祝辞と大学の近況、将来計画を

併せて説明し、また学員会の事業
 についての協力要請を行った。

総会終了後、直ちに懇親会に席
 を移し、顧問の大平理成氏の乾杯
 の音頭が続いて、農林水産政務次
 官の野呂田芳成氏(参議院議員)
 から、当面している県内、国外の
 諸問題について解説をまじえた接
 拶がなされた。

そして、開宴してからは十分も
 経過すると、始めて出席した人々
 も当初の硬さがほぐれ、周囲の人
 と旧知のような感嘆が溢れ、常連
 組の互いに久闊を叙する声と
 相まって、懇親会は時間の経過を

忘れさせるほどの盛り上りをみせ
 た。このことは、世間一般、往々
 にして形骸化している組織の多い
 中で、長い伝統に裏打ちされた本
 学員会総会の確立した位置づけを
 端的に示している点にも、母校
 を核とした学員相互の交誼の輪が
 年々、広がっていることを如実に
 物語っていると感じた次第であ
 る。

ただ、散会間際、近面の課題と
 して、現行の会簿(約五〇〇名)
 が、異動・転勤等の関係で、この
 うち不備な面があることから、こ
 の整備を図り、お互いの連絡意識
 の増進と組織を拡大させることにつ
 いての意見が自然に湧き起り、こ
 れを受けて役員も今後、名簿整理
 について積極的な活動を展開するこ
 とを約し、全和気あいあいの雰
 囲みの中、閉会となった。

(佐藤邦昌記)

〈連絡先〉豊口祐一(電)〇一
 八八三二二三二九

昭和56年8月10日

各地で支部総会・自衛会

高木総長を迎え講演会開催

秋田県支部では、七月三日(土)、秋田市のアキタニューグランドホテルにおいて、高木安助総長講演会並びに平成十一年度の定期総会、懇親会を開催した。

最初に、午後四時より、高木総長を迎えて総長講演会を開催したと、約百二十名の参加者があった。特に演題は定まず、高木総長の一生の立ち、一大学間の生き残り争いをかけた競争、「ロースクール構想」、「駅伝、水泳、一部に復帰したばかりの野球などのスポーツクラブの活躍の状況」、「学員に対する社会における評価」など、ユニークなテーマを交えた熱心な講義を受けた。「足るを知る者は富むも深く印を刻した。」

午後五時三十分から、大学から高木総長、新撰雅歌総務部秘書担当課長、学員会から市橋千鶴子副会長の臨席を賜り、当支部顧問(田孝治、治原謙三、昭三)等約百十名の学員が参加し、定期総会を開催された。

秋田県支部

お、従前の理事のほか五名の理事が新しく選任された。また、当支部への来訪が今度六度目になると、市橋副会長より、「秋田の緑」、「学員への状況」特化型大学院の構想、「中央雅壇(学員時報)」、「商議会の件」などについて、懇切丁寧な報告がされた。

総会終了後、高木総長、市橋副会長、新撰課長のほか、松村紀男、白土連絡会秋田支部長をはじめとする益友や白友会の会員にも臨席いただき、

約百二十名の参加があるなか、本年度の総会で当支部の顧問に委嘱された高橋謙三、實業顧問昭三の二名による乾杯の後、盛大な懇親会が開催された。本年度は、「大懇親会」と銘打って、運営等を若き会員が中心となって実施したが、同日開催された親睦ゴルフ大会の成績発表のほか、初の試みとしてのシラゲームなどで、大変な盛り上がりとなった。エール、校歌斉唱をして、来年度の再会を誓い合い、盛會に閉会となった。(副幹事長 柴田一宏)



秋田県支部 小玉会員に記念品贈呈

秋田県支部では七月一日(土)、秋田市のアキタニューグランドホテルにおいて、加賀野井秀一理工学部教授を学術講演会並びに平成十二年の定期総会・懇親会を開催した。

加賀野井先生をお迎えして午後四時より、「テレビ・ケータイが私たちの感性を委える」と題して、学術講演会を開催したところ、一般市民も含めて、約百名の参加者があった。

先生は、列車の窓から見える風景と殺人事件や海岸戦争を報じるテレビとの近似性をのぞき見例で、テレビの持つ危険性や、現代の若者が携帯電話で話す言葉のモラルについて報告がなされた。

テレビや携帯電話が、日常生活の一部になっているだけに、テレビ・ケータイが、我々の心を蝕んでいるおそれがあるとの先生の指摘に、目から鱗が落ちる思いがした。

午後五時三十分、加賀野井先生、大学から高橋謙三事務局長・理事、学員会から佐藤信昭本部長事務局長の臨席を賜り、平成十二年の定期総会が開催された。

懇親会終了後、加賀野井先生、高橋事務局長、佐藤事務局長、田原支部の顧問に就任したおとる益友や白友会の会員にも臨席いただき、約百名の参加があったが、加賀谷股支部長(昭三)の挨拶、栗谷父母連絡会秋田支部長の乾杯の後、「大懇親会」が開催された。

平成12年9月25日

平成11年11月25日



野村法学部教授を迎え講演

秋田県支部

去る六月七日、平成十五年学術講演会・定期総会・懇親会が阿部三郎理事長、廣瀬秀吉学員会副会長、野村修也法学部教授、高橋謙三創立百二十五周年記念事業推進本部副部長、中村晋総務部秘書課長の臨席を賜り、アキタニューグランドホテルにおいて盛大に開催されました。

学術講演会では、今一番お忙しい野村修也法学部教授から「不良債権問題と金融再生プログラム」とタイムリーな演題で、大変意義のある講演をいただきました。

引き続き定期総会が開催された。報告事項として七月十九日午後六時から県民会館において学友会文化連盟音楽研究会吹奏楽部の秋田公演開催報告が、来秋したメンバーによる説明がありました。審議事項では、役員選任が諮られた後、来年、当支部が創立百周年を迎えるため、記念事業を行う方針が確認されました。その後、阿部理事長から大学の現状と「中央大学」未来について、お話しいただき、廣瀬副会長からは学員会の現況報告をいただきました。

懇親会に先立ち、吹奏楽部の有志による演奏がありました。懇親会では、当日行われたゴルフ大会の表彰式、恒例のピン大会が行われ、大いに盛り上がりました。中締めは校歌斉唱で、剣道部OBの武子君がエールを授け、全員で歌い、終了いたしました。

平成15年7月25日

中央大学学員会秋田県支部内の白門会と役員名簿

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1 大館・北鹿白門会 | 2 能代・山本白門会 | 3 男鹿・南秋白門会 |
| 4 秋田県庁白門会 | 5 秋田県警察白門会 | 6 秋田市役所白門会 |
| 7 秋田銀行白門会 | 8 北都銀行白門会 | 9 白門 J C 会 |
| 10 女性白門会 | 11 秋田県南白門会 | 12 由利・本荘白門会 |

秋田県支部役員名簿

顧問

柴田 久雄 昭25 法	高泉 宏作 昭29 法	笹本 正義 昭33 経	加賀谷 殷 昭40 法
広嶋 重治 昭26 商	藤原 清毅 昭30 法	伊藤 暢男 昭34 法	根津谷 禮蔵 昭40 商
内藤 貞司 昭28 経	大石 清治 昭31 法	佐藤 孝 昭37 文	藤原 清 昭47 経
野呂田 芳成 昭28 法	黒見 俊郎 昭32 経	二田 孝治 昭38 法	齊藤 滋宣 昭53 経
金野 和子 昭29 法	伏見 晃一 昭32 経		

支部長

小畑 悟 昭38 法

副支部長

高橋 祐之助 昭31 法 佐藤 正 昭31 法 吉田 重信 昭38 法 住谷 一男 昭40 商

監事

高橋 賢司 昭37 法 遠藤 隆一 昭39 商

理事

竹内 敏夫 昭31 法	佐藤 通俊 昭39 法	松本 圭司 昭42 商	田所 健 昭47 理
月沢 隆昌 昭31 法	豊口 祐一 昭39 法	渡部 克澄 昭42 商	加藤 伸一 昭48 経
藤原 邦昭 昭32 法	鈴木 茂次 昭40 商	伊藤 久一 昭42 文	吉高 敏朗 昭48 法
菅原 昭昭 昭33 文	鈴藤 次男 昭40 経	高田 一夫 昭43 文	加藤 橋光 昭49 法
内藤 徹弘 昭33 法	大和 谷弘 昭40 文	伊藤 昭一 昭43 法	諸橋 重輝 昭49 法
工藤 一弘 昭33 商	朴 憲一 昭41 法	伊藤 洋子 昭44 法	清水 生宏 昭50 商
黒沢 誠昭 昭34 経	綿 貴一 昭41 商	北林 洋子 昭45 文	土方 博一 昭50 理
岩川 勝芳 昭35 法	菊地 康男 昭42 商	佐藤 卯兵衛 昭47 商	柴田 宏夫 昭51 法
佐藤 芳正 昭35 法	久米田 和太郎 昭42 商	木村 永裕 昭47 商	松金 一真 昭53 文
土屋 正巳 昭35 法	武藤 英文 昭42 法	佐藤 永恵 昭47 商	大田 真一 昭54 理
湊 輝雄 昭35 法	藤 林 弘一 昭42 商	佐藤 孝子 昭47 商	大田 真一 昭55 理
赤坂 光一 昭36 法			

幹事長

亀井 哲夫 昭57 経

副幹事長

加賀谷 英明 昭53 商 江畑 佳明 昭60 経 田宮 俊一 平 1 経 長谷川 尚造 平 5 経
吉田 英一 平 6 商

常任幹事

佐々木 正 昭48 法 加藤 久典 昭51 法 大門 孝子 昭55 商 虻川 征三 昭62 商
武藤 富士雄 昭48 法 佐々木 正昭 昭51 文 面山 恭子 昭59 法 鈴木 三勉 昭62 文
柏木 幹夫 昭50 法 佐々木 正光 昭55 法

幹事

成田 祥英 昭48 経 平沢 敦夫 昭54 法 松山 孝記 昭59 商 大沢 亨 平 5 商
武藤 哲朗 昭49 文 長谷川 祐市 昭56 経 面山 浩康 昭59 法 住谷 真平 平 6 商
長岐 和行 昭52 法 福士 文友 昭56 商 保坂 静夫 昭60 商 佐藤 公誠 平 8 商
長谷部 光哉 昭53 経 松田 博生 昭56 法 青木 一洋 昭61 商 佐藤 宏樹 平 11 経
湯瀬 秀則 昭53 商 金子 治生 昭57 法 奈良 年 平 1 経 佐々木 寛幸 平 11 経
佐々木 優 昭54 法 平野 浩二 昭57 商 近江 直人 平 1 法